



Title	彙報
Citation	北方言語研究, 10
Issue Date	2020-03-20
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77592
Type	bulletin (other)
File Information	17_ihou.pdf



[Instructions for use](#)

彙報

日本北方言語学会 第2回大会

日時：2019年11月9日（土）

会場：富山大学人文学部 1階大会議室 (〒930-8555 富山県富山市五福 3190)

【特別セッション「言語類型論と北方諸言語研究」】(企画：江畑 冬生, コメンテーター：堀 博文)

江畑 冬生 (新潟大学)

「北東ユーラシア諸言語の膠着性・複統合性と統語的派生」

Bugaeva, Anna (東京理科大学)

"How old is polysynthesis in Ainu"

呉人 恵 (富山大学)

「コリャク語の複統合性とその「新しさ」

<ディスカッション>

【研究発表】

吉川 佳見 (国立国語研究所／千葉大学大学院)

「アイヌ語の助動詞 a と証拠性」

小野 洋平 (放送大学大学院)

「統計的言語類型論における「欠損値」について

—アイヌ語・チュクチ語・モンゴル語ハルハ方言・ナバホ語からの考察」

白 尚燁 (室蘭工業大学)

「ツングース諸語とユカギール語の文法的類似性について」

山崎 雅人 (大阪市立大学)

「満洲語文語の従属節対格主語の焦点機能について」

植田 尚樹 (大阪大学大学院／日本学術振興会)

「モンゴル語ハルハ方言の前気音の音声的特徴」

エンフアムガラシ オノン (東京外国語大学大学院)

「現代モンゴル語の相互表現 (ハルハ方言を中心に)」

風間 伸次郎 (東京外国語大学)

「モンゴル語の再帰接辞の機能について」

【総 会】

・新年度役員 (2020～2021年度) 会長：呉人 恵、事務局長：江畑冬生、幹事：児倉徳和、顧問：津曲敏郎 (以上継続)、幹事：堀 博文 (新規)

・第3回大会 & 国際シンポジウムの予定

2020年11月7日(土)午後／8日(日)午前

北海道立北方民族博物館 (網走市) (7日午前にオプションで博物館見学ツアー予定)

・『北方言語研究』投稿規定の改定：同一著者による投稿を原則として1号1件までとする(1号から適用)。

[報告] 会員数 49名 (2019年11月7日現在)

日本北方言語学会 入会案内

- ①年会費 : 当面徴収しない
- ②入会資格 : 北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を2本以上公刊していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。
- ③活動内容
 - ・研究会および国際シンポジウム等の開催
 - ・学会誌『北方言語研究』の刊行 (投稿は会員に限る) と会員への無償配布
 - ・学会 HP および会員 ML による情報交換
- ④入会申込 : 以下について下記事務局あてにメールで通知 (随時受付)
 - ・氏名
 - ・所属
 - ・送付物受領用住所
 - ・eメールアドレス
 - ・研究業績 (2点) または推薦者 (氏名/eメールアドレス)
- ⑤事務局 : 江畑冬生 (新潟大学人文学部) hoppougengo-owner@googlegroups.com